

スクールソーシャルワーカーをご存知ですか？

スクールソーシャルワーカー (School Social Worker : SSW) とは、どんな人？

- ・子どもや保護者が生活で抱えている問題について、福祉や医療等の視点から解決を目指します。
- ・「困り感」について、置かれている環境（友達関係、親子関係、学校・家庭生活など）が、より良い状況になるように一緒に考えます。
- ・環境を整えるために、誰が、どんなことができるかを考え、地域の支援機関に働きかけます。



「困り感」ってどういうこと？

たとえば

子どもが不登校

落ち着いて勉強ができない

子育てに悩んでいる

生活リズムが乱れている

困り感

生活に困っている

友達関係で悩んでいるようだ

いじめられているのでは

家のことが忙しく習い事や部活動をさせてあげられない

親子関係がぎくしゃくしている



SSWは、子どもや保護者の困り感について、関係する機関が連携して支援に取り組むことができるよう、子どもや保護者のお気持ちを確認しながら、支援の計画や関係機関の役割分担を考えます。

具体的に、何をするの？

たとえば、こんなことを行います ~SSWの支援の例~

- 学校を訪問し、子どものことなどについて、学校からお話を聞きます。
(必要に応じて、子どもや保護者と面談を行います。)
- 学校と相談しながら、子どもや保護者の「困り感」について見立てを行います。
- 関係機関が連携してケース会議を開き、支援の計画を立てます。
- 関係機関が役割分担して支援を実施し、支援の状況を把握します。

実際の対応事例について教えてください

困っている状況

小学校の事例

集団が苦手な不登校

児童Aは、集団で過ごすことが苦手で、入学当初から学校を休みがちになり、だんだん登校しなくなった。

母親は、児童Aの日中の居場所にも悩み、児童Aに感情的に関わることもあった。

SSWと関係機関の取組（○）・成果（◆）

<見立て>

- SSWは、学校のケース会議及び保護者との面談で得られた情報から、母親の相談支援の必要性を指摘
- SSWは、児童Aの居場所確保と母親の相談支援を計画

<支援>

- 学校は、学習環境整備と家庭との定期的な連絡を継続
- 教育支援センターやスクールカウンセラーと連携

◆教育支援センターの利用やカウンセリングで母親の負担軽減が図られ、登校できる日も増えてきた。

困っている状況

高等学校の事例

母親の介護で欠席が多い

担任は、生徒Bの欠席時に家庭訪問したところ、母親の介護で欠席していることがわかった。

家族への支援を含め、関係機関が介入しているはずだが、連携が図られず家庭の様子が分からなかった。

SSWと関係機関の取組（○）・成果（◆）

<見立て>

- SSWは、学校のほか市の保健福祉課等の関係機関を含めてケース会議を実施し、情報共有を図り、母親と生徒Bの支援方針を協議した。

<支援>

- 学校は、生徒Bが相談できる関係構築に取り組み、安心して通える環境を整備
- 複数の支援機関による支援状況を定期的に共有

◆家庭のことを教職員に相談できるようになったほか、就労に向けた支援を行い、生徒Bの登校頻度が改善された。

スクールカウンセラー（SC）とは、何が違うのでしょうか？

教職員

関係機関

家庭（保護者）

教職員

連携・調整

連携・調整

助言・援助

助言・援助

SSW(スクールソーシャルワーカー)

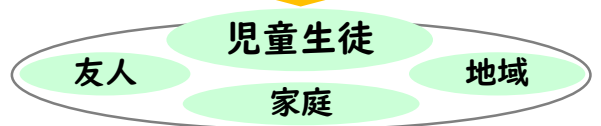
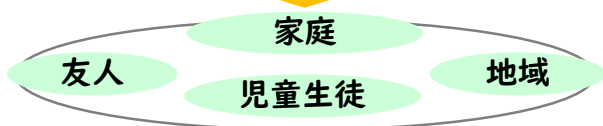
福祉に関する知識・技術を有し、教育や福祉の分野で臨床経験等がある者(社会福祉士、精神保健福祉士等)

SC(スクールカウンセラー)

児童生徒の心理に関して専門的な知識及び経験を有する者

児童生徒が置かれた様々な環境の問題への働きかけ

悩みのある児童生徒へのカウンセリング



SSWに相談するには、どうすればよいのでしょうか？

道立学校やSSWを配置している市町村など、学校や地域の状況によって方法が異なります。詳しくは、お子さんが通っている学校や市町村教育委員会、教育局にお問い合わせください。

令和5年3月 北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課

(参考ページ [スクールソーシャルワーカーに関する資料](#))

